



進路はつづくよどこまでも

中学部「わく・ワーク体験」

キャリア教育の一環として、中学2年生を対象に、夏休みに2～3日間程度職場体験を行っています。体験先は自分の希望に沿った職場です。将来について考えるよい機会となります。中学部2年生のみなさん、初めての働く経験で緊張していましたが、みんなかっこよかったですよ！



スーパーでの
商品の陳列業務



高齢者グループホームでの
レクリエーション業務



パン屋さんでの
調理業務

中学部「先輩と語る会」

6/20(火)に令和元年度高等部普通科卒業生、板谷咲希さんを先輩としてお招きし、「先輩と語る会」がありました。先輩と語る会は、大学進学した先輩の立場から、進路選択や受験勉強方法、中学部時代の悩み等を話していただき、中学部生徒からの質問に答えたり、話し合ったりしました。優しくとても話しやすい先輩でしたので、忌憚ない意見が積極的に交わされました。



高等部「職場実習」

職場実習とは、企業へ行って実際の仕事を1週間程度体験する就業体験です。卒業後、就職を目指す生徒にとっては、就職活動になります。進学を目指す高等部3年生以外は全員参加している進路行事です。



部品のピッキング



製品の梱包業務



ベアリングのバリ取り業務

「実習を終えて、無事に会社から内定をいただきました。実習で、自分で考えて行動する事を学びました。ろう学校の先輩が働いている会社なので、卒業後、協力し合いながら頑張って働いていきたいです。」専攻科Ⅱ年：城崎雄二

高等部「就業ガイダンス」

7/7(金)に平成30年度卒業生、武蔵亜紀穂さんが来校してくださり、「人目を気にせず、再出発してもいいんじゃない」という表題で再就職について講演していただきました。現在は、南前田ケースで梱包作業等を担うお仕事をされていますが、卒業後の就職先を一身上の都合により退職し、再就職に至るまでの道のりについてお話しくださいました。また、働く姿勢についてだけでなく、働くこととは何かということにまで考えさせられるご講演でした。保護者の皆様、詳しくはご家庭でお子さんから聞いてみてください。



キャリアコラム

みなさん、こんにちは！進路担当の宮下です。このコラムでは、ろう学校に関わる人がキャリア教育について考えたことや感じたことを紹介します。

ろう学校の皆さんは、キャリアという言葉やキャリアパスポートや学校評価アンケートや保護者懇談で目にしていますね。ところで、キャリアとは何なのでしょう。

キャリア教育のキャリアとは、自分らしく生きていくために、生きていく中で様々な役割を果たしていく、その役割と自分との関係性や価値を見だしていくことを意味します。なんだか難しいですね。

ここで、宮下のキャリアの一つをご紹介します。それは、学童野球の審判です。息子が学童野球に所属したために、野球経験のない素人の宮下が審判することになりました。最初は、野球のルールの複雑さと誤審への恐怖と闘いながらジャッジしていました。しかし、息子のチームメイト達が楽しそうに野球を引退試合までやりきる姿を見て、大変だけれど必要な役割だということを実感できました。子供の頃からスポーツをすることは好きでしたが、スポーツの裏方を担って支える立場も良いものだなと考えるようになりました。ろう学校のみなさんも新たな自分の一面を見つけたら、キャリアパスポートを活用して、自分らしく生きる力を高めていきましょう。

高等部 進路担当 宮下亮平